

# 全道消防救助技術指導会出場

7月8日(土)札幌市消防学校で開催された第51回全道消防救助技術指導会(一般財団法人全国消防協会北海道地区支部主催)に、遠軽地区広域組合消防本部からAチーム(福田、岩瀬、有沢)、Bチーム(今井、大口、須藤)の2チームが陸上の部「ほふく救出」の種目に出場し、Aチームが大会長表彰を受賞。



福田淳平 消防士(写真左)、岩瀬泰我 消防士(写真中)、有沢恭佑 消防士(写真右)

この指導会は、全道の消防救助隊員が一堂に会し、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を相互に競い合い、学ぶことを通じて、他の模範となる隊員を育成し、道民の負託に応えることを目的として、陸上の部7種目・水上の部2種目の救助技術がそれぞれ競われました。



「ほふく救出」は、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、2人で安全な場所まで搬送する競技内容で、要救助者役を含めた3名の隊員で編成されるもので、全道から12チームが参加。Aチームは、持ち点300点満点のところ減点なしの300点を記録し、大会長である一般財団法人全国消防協会北海道地区支部長から表彰状が授与されました。



前回の全国初出場から2年連続の全国大会出場とはなりませんでしたが、平成30年の出場から連続で大会長彰を受賞し、優秀な結果を残しました。